# Docker インストール

### 概要

- Docker インストール
  - 。 概要
  - システム要件
  - ダウンロード
    - 公式サイトからダウンロード
  - o 環境確認
    - BIOSレベルで仮想化設定されているか確認
  - o 環境設定
    - BIOS設定
    - Hyper-Vとcontainerの有効化
  - インストール
  - o 起動確認

#### システム要件

下記要件を満たしていることが前提となります。

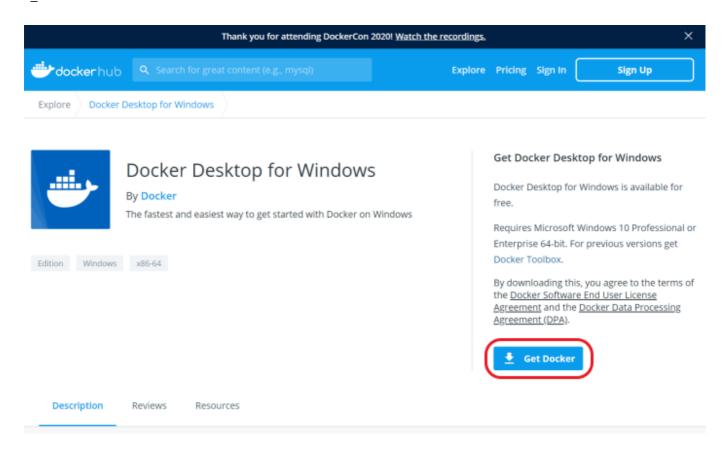
- Windows 10 64-bit: Pro, Enterprise, 又は Education (Build 15063 以降)
- SLAT対応64-bitのプロセッサーが必要
- 4GB以上のメモリ
- Hyper-V と Containers を有効化する必要がある
- BIOSレベルでVirtualization を有効化する必要がある

## ダウンロード

公式サイトからダウンロード

公式サイト ↓ からインストーラをダウンロードします。

https://hub.docker.com/editions/community/docker-ce-desktop-windows/



ダウンロード済みファイル: 50\_ETC\soft\Docker Desktop Installer.exe

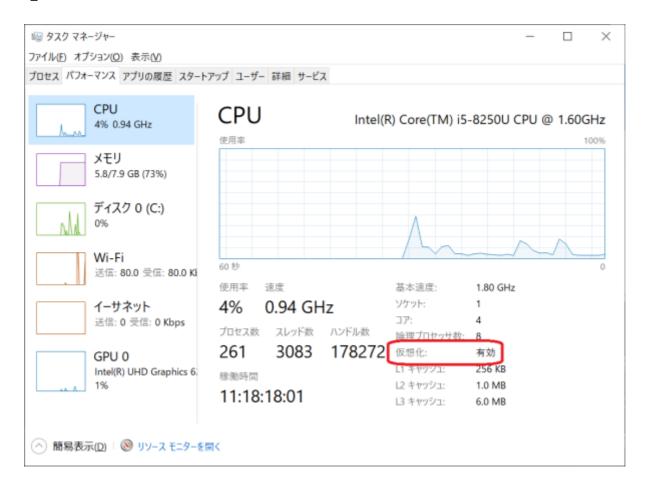
### 環境確認

BIOSレベルで仮想化設定されているか確認

タスクマネージャ>パフォーマンス のタブを開き、右下部分の **「仮想化」** が有効になっているか確認します。

有効になっていない場合は、BIOSの設定が必要です。

有効になっている場合は、Hyper-Vとcontainerの有効化に進んでください。



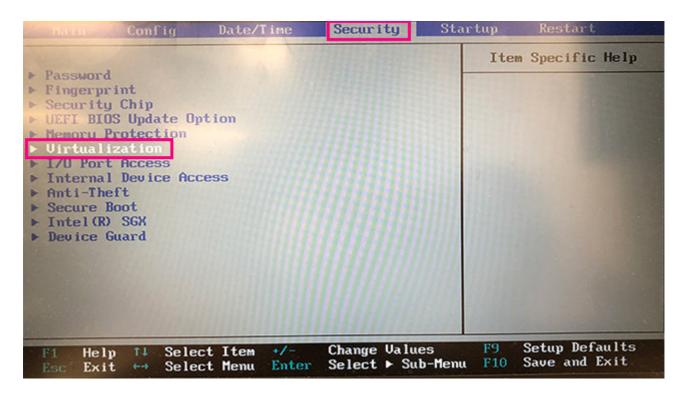
### 環境設定

Dockerを利用する環境を設定します。

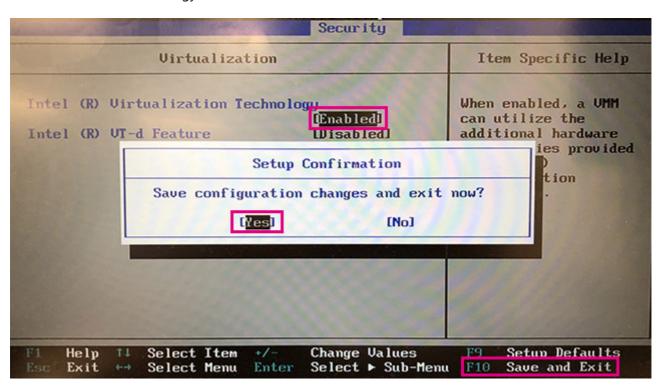
#### BIOS設定

Windowsを再起動し、再起動中にPCのメーカーのロゴが表示されるかと思いますが、それが表示されている間にBIOS画面に入ります。メーカーによって入り方は異なりますが、「F1」、「F2」、「Del」などのキーを押すことでBIOS画面に入れますが、入れない場合は「メーカー名 bios 入り方」などで調べてみてください。

BIOS画面はメーカーによって異なりますが、Virtualizationのメニューを探します。



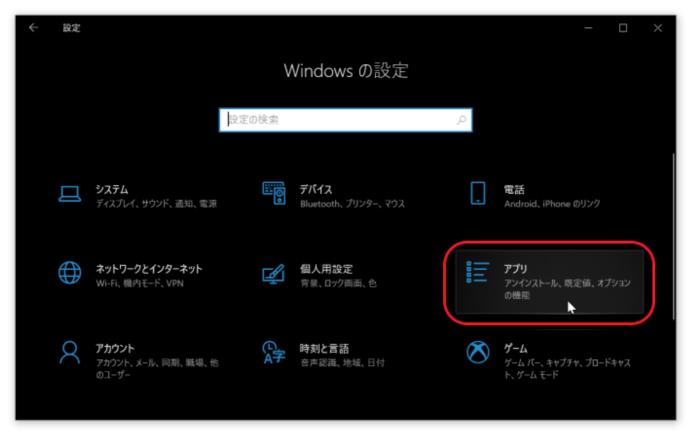
Intel Virtualization Technologyを「Enabled」に変更して「F10」で保存します。



Hyper-Vとcontainerの有効化

Hyper-VとContainerの有効化を行います。

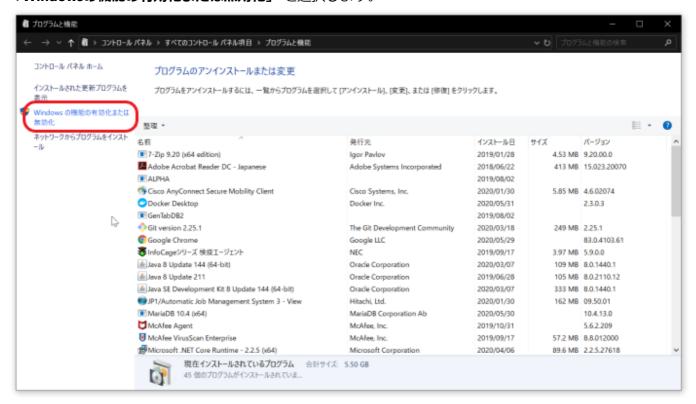
Windowsメニューから 「設定」 を開いて、「アプリ」 を選択します。



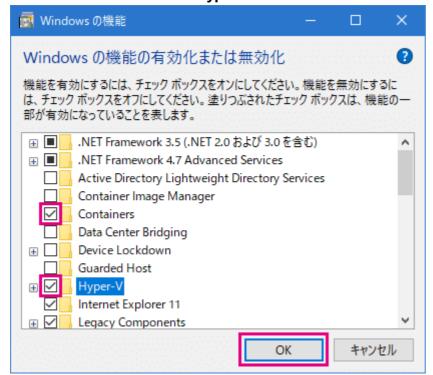
#### 下にスクロールして「関連設定>プログラムと編集」を選択します。



#### 「Windowsの機能の有効化または無効化」 を選択します。

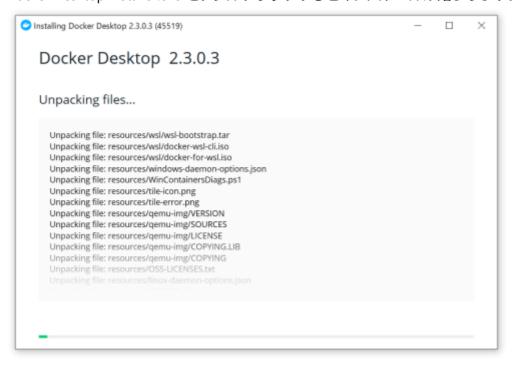


この画面が表示されるので「Hyper-V」と「Container」にチェックを入れて「OK」をクリックします。

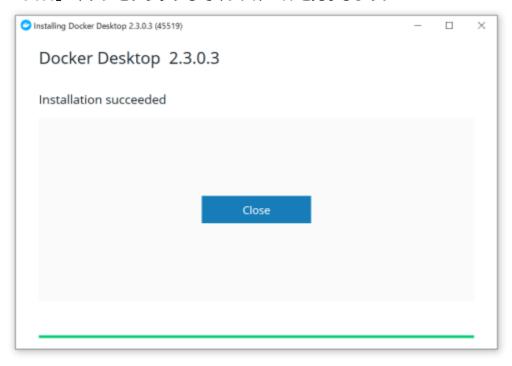


インストール

Docker Desktop Installer.exe をダブルクリックするとインストールが始まります。



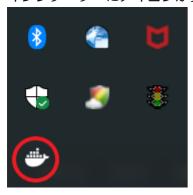
「Close」ボタンをクリックしてインストールを完了します。



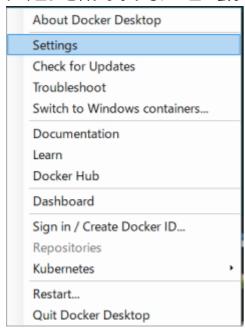
# 起動確認

デスクトップに作成された「**Docker Desktop」** アイコンを選択し、右ボタン押下で 「**管理者として実行」** を選択します。

インジケーターにアイコンが表示され、アニメーションが終われば起動完了です。



アイコンを右クリックしメニュー表示し 「Setting」 を選択し設定画面を開きます。



Dockerはメモリを大量に消費するので、普段は起動しないように「Start ...」のチェックは外しておきます。

